

2024年度開発協力人材育成事業：募集分野

<b>募集分野</b>		<b>登録番号</b>	
<b>■募集分野</b>	貧困削減/金融包摂	<b>■募集人数（人）</b>	1
<b>■学位</b>	修士／博士		
<b>■担当部署名</b>	ガバナンス・平和構築部                      ジェンダー平等・貧困削減推進室		
<b>■募集の背景</b>			
<p>開発途上国では経済成長が進む一方で、近年のCOVID-19、気候変動他により貧困率の上昇や格差拡大を見るところも多い。持続的成長および貧困削減双方にとり、取り残されがちな人々のレジリエンス強化、生計・生活の質向上は喫緊の課題であり、それを後押しする安全、安価で利便性の高い金融サービスを全ての人が使えるようにする金融包摂促進は不可欠だが、未だ14億人が金融口座を所持していない。他方、デジタル技術やデータサイエンスの発展により、フィンテックの台頭やオープン・ファイナンス、デジタル・パブリック・インフラストラクチャーの議論も活発となり、金融サービスとその提供者の多様化、金融規制・監督の在り方の見直しにつながっている。こうした中、金融システムとデジタルの知見を持ち、貧困層の課題解決・ニーズ充足のために、官民プレーヤーを広く巻き込み金融包摂と貧困削減・格差是正を進められる専門人材が必要である。</p>			
<b>■本事業を通じて育成が期待される人材像</b>			
<p>貧困削減・格差是正とそのための金融包摂に関する最新の理論や議論に周知し、それらを政策立案や事業実施等の実践に役立てられる人材。開発の恩恵から取り残されがちなセグメントの課題解決に強い意志とコミットメントがあり、金融、ビジネス、デジタル等の知見を自ら活用、あるいはそれらを動員する能力やネットワーク力を持ち、公的セクターと民間セクターの橋渡し役を務められる人材。公的な視点とビジネスマインドセットを併せ持つ人材。</p>			
<b>■想定される大学院の研究コース（及び研修内容）</b>			
<p>1. 社会課題の解決に向けた革新的な手法、政策等について学ぶことができるコース（例）          Institute for Social Innovation, Babson College          Kennedy School, Harvard University          MSc Social Innovation and Entrepreneurship, London School of Economics          Master in Sustainability and Social Innovation, HEC Paris</p> <p>2. ソーシャルビジネスを学ぶことができるMBAコース（例）          Said Business School, University of Oxford          Stern School of Business, New York University          Harvard Business School, Harvard University</p> <p>3. インクルーシブファイナンス、サステイナブルファイナンスを学べるMBA（例）          Master of Business Administration, Frankfurt School of Finance and Management</p>			
<b>■参考情報</b>			
<p>・ Mundi 2021年4月号  <a href="https://www.jica.go.jp/Resource/publication/mundi/202104/index.html">https://www.jica.go.jp/Resource/publication/mundi/202104/index.html</a></p> <p>・ アルバニア国小規模農家金融包摂プロジェクト（JICA）  <a href="https://fiasproject.org/ja">https://fiasproject.org/ja</a></p> <p>・ 全世界農業及び保健分野におけるイノベティブな金融包摂アプローチに係る研究ファイナルレポート  <a href="https://openjicareport.jica.go.jp/810/810/810_000_1000043206.html">https://openjicareport.jica.go.jp/810/810/810_000_1000043206.html</a></p> <p>・ 世界銀行傘下のシンクタンクで金融包摂に関する研究・実践を行っている機関  <a href="https://www.cgap.org/">https://www.cgap.org/</a></p>			
<b>■研修修了後に想定されるJICA事業参画の時期・期間</b>			
<p>研修修了後は、JICAの金融包摂・SDGビジネス関連案件の専門家・コンサルタント等として5-10年程度従事。</p>			
<b>■募集要項に記載の応募資格以外に受入れに関し求める要件（「必須」か「望ましい」かを選択し、具体的な要件を記載ください。）</b>			
必須	貧困層対象、或いは格差是正を目的とした開発協力事業への従事経験がある		
望ましい	社会課題の解決にビジネスのアプローチを活用した経験		
望ましい	開発課題の解決へのデジタル技術やイノベティブな手法の活用に関心がある		
<b>■備考・留意点</b>			